

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成20年8月28日(2008.8.28)

【公開番号】特開2007-48187(P2007-48187A)

【公開日】平成19年2月22日(2007.2.22)

【年通号数】公開・登録公報2007-007

【出願番号】特願2005-234208(P2005-234208)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/21 (2006.01)

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/21 5 9 2 J

G 0 6 F 17/30 1 7 0 J

【手続補正書】

【提出日】平成20年7月15日(2008.7.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

英文字及び四声データを含むピンイン見出語と、当該ピンイン見出語に対応する漢字見出語とを対応づけた見出語記憶手段と、

英文字を入力する英文字入力手段と、

この英文字入力手段により入力された英文字と前記見出語記憶手段に記憶されたピンイン見出語の英文字部分とを比較して一致するピンイン見出語を抽出する英文字一致ピンイン見出語抽出手段と、

第 1 の四声位置に対する四声データを入力する第 1 の四声データ入力手段と、

前記英文字一致ピンイン見出語抽出手段により抽出されたピンイン見出語のうち、前記第 1 の四声位置に前記第 1 の四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語を抽出する第 1 の抽出手段と、

この第 1 の抽出手段により抽出されたピンイン見出語に対応する漢字見出語を前記見出語記憶手段から読み出して表示する第 1 の漢字見出語表示手段と、

前記第 1 の四声データ入力手段により四声データが入力された後、第 2 の四声位置に対する四声データを入力する第 2 の四声データ入力手段と、

この第 2 の四声データ入力手段による入力となされた場合に、前記第 2 の四声位置に、当該第 2 の四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語を前記第 1 の抽出手段により抽出されたピンイン見出語の中から抽出する第 2 の抽出手段と、

前記第 2 の四声データ入力手段による入力となされた場合に、前記第 2 の抽出手段により抽出されたピンイン見出語に対応する漢字見出語を前記見出語記憶手段から読み出して表示する第 2 の漢字見出語表示手段と、

を備える見出語表示制御装置。

【請求項 2】

英文字及び四声データを含むピンイン見出語と、当該ピンイン見出語に対応する漢字見出語とを対応づけた見出語記憶手段と、

英文字を入力する英文字入力手段と、

この英文字入力手段により入力された英文字と前記見出語記憶手段に記憶されたピンイ

ン見出語の英文字部分とを比較して一致するピンイン見出語を抽出する英文字一致ピンイン見出語抽出手段と、

四声データを入力する四声データ入力手段と、

前記英文字一致ピンイン見出語抽出手段により抽出されたピンイン見出語のうち、前記四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語を抽出して対応する漢字見出語を前記見出語記憶手段から読み出して表示する漢字見出語表示手段と、

を備える見出語表示制御装置。

【請求項 3】

前記見出語記憶手段に記憶された各漢字見出語それぞれに対応する訳情報を記憶する訳情報記憶手段と、

前記漢字見出語表示手段により漢字見出語が表示されている状態の際に、当該漢字見出語に対応する訳情報を前記訳情報記憶手段から読み出して表示する訳情報表示手段と、

を備える請求項 2 に記載の見出語表示制御装置。

【請求項 4】

コンピュータを、

英文字及び四声データを含むピンイン見出語と、当該ピンイン見出語に対応する漢字見出語とを対応づけた見出語記憶手段、

英文字を入力する英文字入力手段、

この英文字入力手段により入力された英文字と前記見出語記憶手段に記憶されたピンイン見出語の英文字部分とを比較して一致するピンイン見出語を抽出する英文字一致ピンイン見出語抽出手段、

第 1 の四声位置に対する四声データを入力する第 1 の四声データ入力手段、

前記英文字一致ピンイン見出語抽出手段により抽出されたピンイン見出語のうち、前記第 1 の四声位置に前記第 1 の四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語を抽出する第 1 の抽出手段、

この第 1 の抽出手段により抽出されたピンイン見出語に対応する漢字見出語を前記見出語記憶手段から読み出して表示する第 1 の漢字見出語表示手段、

前記第 1 の四声データ入力手段により四声データが入力された後、第 2 の四声位置に対する四声データを入力する第 2 の四声データ入力手段、

この第 2 の四声データ入力手段による入力になされた場合に、前記第 2 の四声位置に、当該第 2 の四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語を前記第 1 の抽出手段により抽出されたピンイン見出語の中から抽出する第 2 の抽出手段、

前記第 2 の四声データ入力手段による入力になされた場合に、前記第 2 の抽出手段により抽出されたピンイン見出語に対応する漢字見出語を前記見出語記憶手段から読み出して表示する第 2 の漢字見出語表示手段、

として機能させるためのプログラム。

【請求項 5】

コンピュータを、

英文字及び四声データを含むピンイン見出語と、当該ピンイン見出語に対応する漢字見出語とを対応づけた見出語記憶手段、

英文字を入力する英文字入力手段、

この英文字入力手段により入力された英文字と前記見出語記憶手段に記憶されたピンイン見出語の英文字部分とを比較して一致するピンイン見出語を抽出する英文字一致ピンイン見出語抽出手段、

四声データを入力する四声データ入力手段、

前記英文字一致ピンイン見出語抽出手段により抽出されたピンイン見出語のうち、前記四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語を抽出して対応する漢字見出語を前記見出語記憶手段から読み出して表示する漢字見出語表示手段、

として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0012
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正3】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0013
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正4】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0014
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正5】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0015
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0015】

上記の課題を解決するため、請求項1に記載の見出語表示制御装置は、
英文字及び四声データを含むピンイン見出語と、当該ピンイン見出語に対応する漢字見
出語とを対応づけた見出語記憶手段と、

英文字を入力する英文字入力手段と、

この英文字入力手段により入力された英文字と前記見出語記憶手段に記憶されたピンイン見出語の英文字部分とを比較して一致するピンイン見出語を抽出する英文字一致ピンイン見出語抽出手段と、

第1の四声位置に対する四声データを入力する第1の四声データ入力手段と、

前記英文字一致ピンイン見出語抽出手段により抽出されたピンイン見出語のうち、前記第1の四声位置に前記第1の四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語を抽出する第1の抽出手段と、

この第1の抽出手段により抽出されたピンイン見出語に対応する漢字見出語を前記見出語記憶手段から読み出して表示する第1の漢字見出語表示手段と、

前記第1の四声データ入力手段により四声データが入力された後、第2の四声位置に対する四声データを入力する第2の四声データ入力手段と、

この第2の四声データ入力手段による入力になされた場合に、前記第2の四声位置に、当該第2の四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語を前記第1の抽出手段により抽出されたピンイン見出語の中から抽出する第2の抽出手段と、

前記第2の四声データ入力手段による入力になされた場合に、前記第2の抽出手段により抽出されたピンイン見出語に対応する漢字見出語を前記見出語記憶手段から読み出して表示する第2の漢字見出語表示手段と、

を備えることを特徴としている。

【手続補正6】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0016
【補正方法】変更
【補正の内容】
【0016】

請求項2に記載の見出語表示制御装置は、

英文字及び四声データを含むピンイン見出語と、当該ピンイン見出語に対応する漢字見

出語とを対応づけた見出語記憶手段と、

英文字を入力する英文字入力手段と、

この英文字入力手段により入力された英文字と前記見出語記憶手段に記憶されたピンイン見出語の英文字部分とを比較して一致するピンイン見出語を抽出する英文字一致ピンイン見出語抽出手段と、

四声データを入力する四声データ入力手段と、

前記英文字一致ピンイン見出語抽出手段により抽出されたピンイン見出語のうち、前記四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語を抽出して対応する漢字見出語を前記見出語記憶手段から読み出して表示する漢字見出語表示手段と、

を備えることを特徴としている。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項 3 に記載の見出語表示制御装置は、請求項 2 に記載の見出語表示制御装置であって、

前記見出語記憶手段に記憶された各漢字見出語それぞれに対応する訳情報を記憶する訳情報記憶手段と、

前記漢字見出語表示手段により漢字見出語が表示されている状態の際に、当該漢字見出語に対応する訳情報を前記訳情報記憶手段から読み出して表示する訳情報表示手段と、

を備えることを特徴としている。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項 4 に記載のプログラムは、コンピュータを、

英文字及び四声データを含むピンイン見出語と、当該ピンイン見出語に対応する漢字見出語とを対応づけた見出語記憶手段、

英文字を入力する英文字入力手段、

この英文字入力手段により入力された英文字と前記見出語記憶手段に記憶されたピンイン見出語の英文字部分とを比較して一致するピンイン見出語を抽出する英文字一致ピンイン見出語抽出手段、

第 1 の四声位置に対する四声データを入力する第 1 の四声データ入力手段、

前記英文字一致ピンイン見出語抽出手段により抽出されたピンイン見出語のうち、前記第 1 の四声位置に前記第 1 の四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語を抽出する第 1 の抽出手段、

この第 1 の抽出手段により抽出されたピンイン見出語に対応する漢字見出語を前記見出語記憶手段から読み出して表示する第 1 の漢字見出語表示手段、

前記第 1 の四声データ入力手段により四声データが入力された後、第 2 の四声位置に対する四声データを入力する第 2 の四声データ入力手段、

この第 2 の四声データ入力手段による入力になされた場合に、前記第 2 の四声位置に、当該第 2 の四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語を前記第 1 の抽出手段により抽出されたピンイン見出語の中から抽出する第 2 の抽出手段、

前記第 2 の四声データ入力手段による入力になされた場合に、前記第 2 の抽出手段により抽出されたピンイン見出語に対応する漢字見出語を前記見出語記憶手段から読み出して表示する第 2 の漢字見出語表示手段、

として機能させることを特徴としている。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項 5 に記載のプログラムは、コンピュータを、

英文字及び四声データを含むピンイン見出語と、当該ピンイン見出語に対応する漢字見出語とを対応づけた見出語記憶手段、

英文字を入力する英文字入力手段、

この英文字入力手段により入力された英文字と前記見出語記憶手段に記憶されたピンイン見出語の英文字部分とを比較して一致するピンイン見出語を抽出する英文字一致ピンイン見出語抽出手段、

四声データを入力する四声データ入力手段、

前記英文字一致ピンイン見出語抽出手段により抽出されたピンイン見出語のうち、前記四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語を抽出して対応する漢字見出語を前記見出語記憶手段から読み出して表示する漢字見出語表示手段、

として機能させることを特徴としている。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 12】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 13】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 14】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

請求項 1 に記載の発明によれば、英文字が入力されると、英文字一致ピンイン見出語抽出手段によって、入力された英文字と見出語記憶手段に記憶されたピンイン見出語の英文字部分とが比較されて一致するピンイン見出語が抽出される。第 1 の四声データ入力手段によって第 1 の四声位置に対する四声データが入力される。そして、第 1 の抽出手段によって、英文字一致ピンイン見出語抽出手段により抽出されたピンイン見出語のうち、第 1

の四声位置に第1の四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語が抽出される。そして、第1の抽出手段により抽出されたピンイン見出語に対応する漢字見出語が見出語記憶手段から読み出されて表示される。次いで、第2の四声データ入力手段によって、第2の四声位置に対する四声データが入力される。そして、第2の抽出手段によって、第2の四声位置に第2の四声データ入力手段により入力された四声データを有するピンイン見出語が第1の抽出手段により抽出されたピンイン見出語の中から抽出される。第2の四声データ入力手段による入力になされた場合に、第2の抽出手段により抽出されたピンイン見出語に対応する漢字見出語が見出語記憶手段から読み出されて表示される。従って、英文字入力後に、複数の入力位置に所望の四声データを複数入力できるため、四声の入力位置が複数ある見出語についても、適切な位置への容易な四声データの入力の実現できる。

【手続補正15】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0025

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0025】

請求項2に記載の発明によれば、英文字が入力されると、入力された英文字と見出語記憶手段に記憶されたピンイン見出語の英文字部分とが比較されて一致するピンイン見出語が抽出される。四声データが入力されると、抽出されたピンイン見出語のうち、入力された四声データを有するピンイン見出語が抽出されて対応する漢字見出語が見出語記憶手段から読み出されて表示される。従って、英文字入力後に四声データを入力した場合、入力された英文字と英文字部分が一致し、入力された四声データを有する見出語が表示されるため、入力する必要のある四声データのうち1つを入力することで、所望の見出語を効率よく検索できる。請求項5に記載の発明も同様の作用効果を奏する。

【手続補正16】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

請求項3に記載の発明によれば、請求項2に記載の発明により漢字見出語が表示されると、訳情報記憶手段から当該漢字見出語の訳情報が読み出されて表示される。従って、辞書DB等の訳情報記憶手段を有する見出語表示制御装置において、請求項2に記載の発明を利用することができる。